

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	01	01	01	03	01
細事業名		議会広報事業				

担当部局	議会事務局
担当課等	議会総務課
担当課長の氏名	中田 裕雄
担当者の氏名	西山 茂門

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>VII 計画推進のために</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>① 効率的な行政運営の推進</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>3 事務事業の見直し</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	VII 計画推進のために	計画項目 (施策)	① 効率的な行政運営の推進	施策方針	3 事務事業の見直し
基本方針 (政策)	VII 計画推進のために						
計画項目 (施策)	① 効率的な行政運営の推進						
施策方針	3 事務事業の見直し						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>議会活動の状況を広く周知し、議会についての理解を深めることを目的とする。</td> </tr> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>より読みやすい、わかりやすい、市民が興味をもって読む紙面づくり。</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	議会活動の状況を広く周知し、議会についての理解を深めることを目的とする。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		より読みやすい、わかりやすい、市民が興味をもって読む紙面づくり。
(どのような目的で事業を実施するか)	議会活動の状況を広く周知し、議会についての理解を深めることを目的とする。						
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)						
	より読みやすい、わかりやすい、市民が興味をもって読む紙面づくり。						

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民に対して、定例会ごとの審議内容及び議決事項を掲載した市議会だよりを市内全戸及び関係機関に配布。1回の発行部数は22,000部、平均23.5ページ。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民からの意見、声を掲載し、議会活動の状況を広く周知し、議会についての理解を深めることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	76	財源内訳	国庫支出金	
	11	1,775		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	1,851
				合計	1,851
	事業費合計	1,851			

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民に分かりやすく開かれた議会づくりのための広報づくりを目標に編集しており、議会報告会での資料としても活用している。また、市議会広報研修会でも高い評価をいただいた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民に分かりやすく開かれた議会づくりのための広報づくりを目標に編集しており、議会報告会での資料としても活用している。また、市議会広報研修会でも高い評価をいただいた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			市民に分かりやすく開かれた議会づくりのための広報づくりを目標に編集しており、議会報告会での資料としても活用している。また、市議会広報研修会でも高い評価をいただいた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付けをしており、今後ますます内容の充実が求められるが、紙面構成などでコスト意識を持つことも必要。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付けをしており、今後ますます内容の充実が求められるが、紙面構成などでコスト意識を持つことも必要。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付けをしており、今後ますます内容の充実が求められるが、紙面構成などでコスト意識を持つことも必要。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付けをしており、今後ますます内容の充実が求められる。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付けをしており、今後ますます内容の充実が求められる。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			市民に開かれた議会づくりのための広報と位置付けをしており、今後ますます内容の充実が求められる。	
	B 内容の見直し					
	C 統廃合・休止・終了					
	事業規模の方向性					
<table border="1"> <tr> <td>B 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全戸配布及び関係団体に配布をしているが、市民に開かれた議会とするためにも今後も継続することが必要。</td> </tr> <tr> <td>A 事業拡大</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B 現状維持	理由	全戸配布及び関係団体に配布をしているが、市民に開かれた議会とするためにも今後も継続することが必要。	A 事業拡大	C 事業縮小	
B 現状維持	理由			全戸配布及び関係団体に配布をしているが、市民に開かれた議会とするためにも今後も継続することが必要。		
A 事業拡大						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	01	01	01	04	01
細事業名		議員活動・議会渉外活動事業				

担当部局	議会事務局
担当課等	議会総務課
担当課長の氏名	中田 裕雄
担当者の氏名	西山 茂門

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針 3 事務事業の見直し
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 委員会、視察、研修、議会報告会等を行ない、市民に開かれた議会、議員の政策形成能力・審議機能の充実・向上を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民に開かれた議会を目指し、議会報告会の充実、委員会の開催、視察研修研究会等の実施。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 常任委員会、特別委員会等が目的意識を持ち、調査研究・情報の収集を行った。また、議会報告会を行い議会の活動報告、市民との交流、意見交換を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 常任委員会、特別委員会等が目的意識を持ち、調査研究・情報の収集を行うことにより、政策形成・監視、チェック機能等の強化を図られた。また、議会報告会を行い議会の活動を報告、市民との交流、意見をいただき議会の機能向上を図った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	8	100	国庫支出金		
	9	2,393	府支出金		
	10	23	起債		
	11	39	分担金・負担金		
	14	600	その他		
事業費合計		3,155	一般財源		3,155
			合計		3,155

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">日本経済新聞社の調査で、議会運営の改革、情報公開などにおいて最高の評価(全国807市区議会中第1位)をいただいた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	日本経済新聞社の調査で、議会運営の改革、情報公開などにおいて最高の評価(全国807市区議会中第1位)をいただいた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	日本経済新聞社の調査で、議会運営の改革、情報公開などにおいて最高の評価(全国807市区議会中第1位)をいただいた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本市議会は政務調査費を交付しておらず(府下15市議会中本市議会を除く14市議会が交付、北部4市は月額議員一人12万～26万を交付)目的達成のためにコスト削減の余地はなかったと考える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	本市議会は政務調査費を交付しておらず(府下15市議会中本市議会を除く14市議会が交付、北部4市は月額議員一人12万～26万を交付)目的達成のためにコスト削減の余地はなかったと考える。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	本市議会は政務調査費を交付しておらず(府下15市議会中本市議会を除く14市議会が交付、北部4市は月額議員一人12万～26万を交付)目的達成のためにコスト削減の余地はなかったと考える。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	委員会の開催、行政視察、研修会等は目的を達成する上で必要不可欠なもので、特に議会報告会など市民参加の取り組みについては今後もより一層の充実が求められる。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	委員会の開催、行政視察、研修会等は目的を達成する上で必要不可欠なもので、特に議会報告会など市民参加の取り組みについては今後もより一層の充実が求められる。
B 現状維持			
C 事業縮小			